

抜き加工のトータルソリューションを目指して

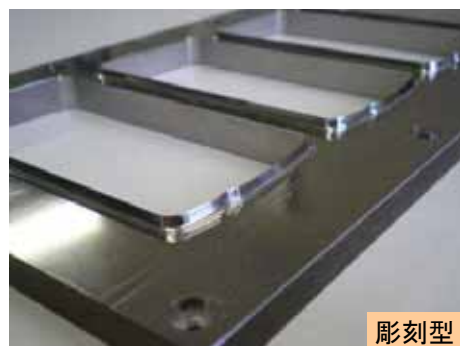
顧客の求める「抜き型」造りを自社独自の観点からとことん追及。
その精度により大手電機メーカーの液晶テレビ等の液晶用フィルム
加工にも採用。

止むことを知らない「顧客の要求」

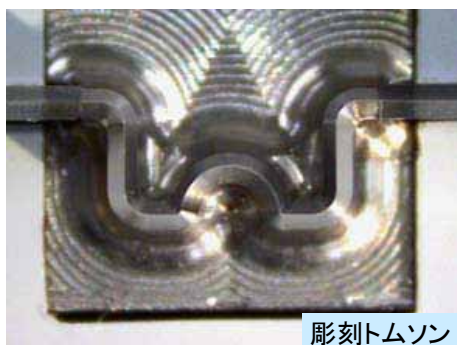
これまで打ち抜き加工の主な対象は、パッケージ等に使用される紙材などであったが、最近は液晶テレビやカーナビ、携帯電話に使用される光学フィルム、またタッチパネルに使用されるポリカーボネイト、ペットフィルム等多様化しており、加工技術においても、より複雑な形状対応、品質においても短納期、高精度化が求められてきている。

独自の技術で「顧客の要求」へ挑戦

株式会社高橋型精は、様々な顧客の要求に対して、低コストで短納期が可能な「トムソン刃」と複雑加工が可能な「彫刻刃」を組み合わせた「彫刻トムソン型」や、型の合板中間層に樹脂を流し込むことで刃を安定させ、高精度を実現する「レジンキャストダイ」など独自の技術を活かした「抜き型」を多く開発し、3mm厚ポリカーボネイト抜き加工等の顧客要求に提案し続けている。



彫刻型



彫刻トムソン



自動排出型



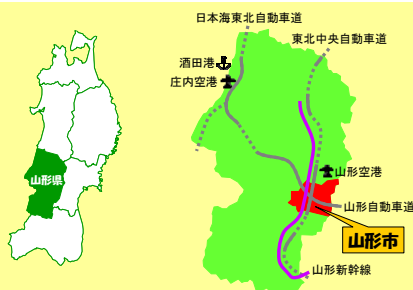
レジンキャストダイ

「抜き型」を活かすために

「抜き型」自体は高精度であってもそれを利用するプレス機本体が、長く使用した物ほど平行度が不十分で最終的な製品の精度は保てない。そんな課題を解決すべく当社では現在、高精度かつ簡便に平行度を計測できる測定器を開発し、プレス加工業者への測定・調整サービス事業を開始、また測定器の販売も予定している。



平行度測定器



株式会社高橋型精

山形県 山形市蔵王松ヶ丘 1-1-35
1943年(昭和18年)設立
TEL 023-695-3311
<http://www.t-keisei.com>



代表取締役 高橋 光広